



第55回自治体学校に参加
しました。(8月3~5日)
※詳細報告はホームページ
に掲載予定です。

9月議会(通常会議)は
9月2日(月)
開会予定です。

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



大津市が

平均7%の給与削減

― 共産党は反対

7月特別会議

所得引き下げは
地域経済活性化に
逆行

回の職員給与削減はさらなる
悪影響をもたらすことにな
ります。

7月特別会議(以前の臨時
議会に当たる)には、大津市
職員給与を来年3月まで平均

約7%・総
額約7億5
000万円
削減する議
案が出され
可決されま
した。

地方自治を踏みに じる交付税削減

今回の給与削減は地方交付
税を削減して職員の給与減額
を国が求めてきたもので、憲
法や地方公務員法に明らかに
違反しており、全国市長会な
ど地方団体からも批判の声が

市民福祉の財源に 議員報酬の削減を

上がっています。
日本共産党は、給与削減で
はなく財政調整基金の取り崩
して対応することを主張しま
した。

同時に、交付税減収によ
る市民サービスの低下を防ぐ
ために、党議員団は議員報酬
の月額15%削減の議案を提出。
他会派の3人の議員がこの

北部の環境対策が 前進

他に今会議の補正予算では、
比叡山延暦寺霊園横の残土処
分場における緊急措置として、
崩落を防止する対策を講じ
る予算と、シアンが検出され
た伊香立南庄町の現場周辺の



→比叡山延暦寺霊園横(栗原
地先)の残土処分場

土壌、水質、地下水のモニタ
リングなどの追加調査をおこ
なうための予算が措置されま
した。

これ以上の職員給与削減は 地域経済と暮らしに悪影響

大津市はこ
れまでから、
行財政改革
として職員
給与の削減
をおこなって
おり、公務
員給与に準
拠している団
体職員や民
間労働者な
どの賃金引
下げや、地
域経済にも
影響を与え
てきました。
市民所得
の上昇やデフ
レからの脱却
が課題となっ
ている経済状
況の中で、今

横田議員が政治倫理条例違反で 議長辞職

農地の形状変更をめぐる市民の要求を受
けて、農業委員会職員に不当な圧力をかけ
たとして報道されていた横田好雄議長が議
長辞職願を出し、8月7日に開かれた特別
会議で承認されました。

とは重大であり、議長を辞職するだけでは
済まされない問題です。
党議員団の杉浦市議を含む6名の議員が
審査請求をおこない、7日から政治倫理審
査会を立ち上げ事実関係などを確認した後、
議会としての「措置」を決めることになっ
ています。

大津市議会では、昨年4月から
政治倫理条例を施行しており、
議員が行政をゆがめる不当な圧
力をかけることを禁止しています。
議長自らがこの条例に違反したこ

政治倫理審査会が発足、 会議が開かれる

安心して子育てができる 大津市に

子育てを支える施設の現状を聞く



7月下旬から8月上旬にかけて、党市議団は市内の公的施設を中心に訪問、聞き取り活動に取り組みました。

今回は、とくに子育てを支える施設について報告します。

★風の子児童クラブ

風の子児童クラブは、今年度から開設された民間の児童クラブです。保育園増設とあわせて作られ、建物は1階が児童クラブ、2階が保育園の5才児の保育室となっています。訪問時は園内のプールで活動されており、そこには保育園児もいて自然と交流されていました。部屋も広く、地域の方との交流もできるようにと囲碁のセットも用意しており、環境も整備されていました。

園長からは、今後児童が増えたときの指導員確保など、課題もお聞かせいただきました。



↑風の子児童クラブ・保育園（穴太）で園長（写真左）のお話をうかがう。（写真右はきのせ市議）

ない夏休みはグループ分けを変更し、スムーズに9月が迎えられるようにするなど、様々な工夫がされています。

同時に、2015年度から本格実施される「子ども・子育て新制度」では、子どもの生活や発達を保障するという視点よりも、保育の必要量などが優先されてしまい、子どもの集団づくりや保育の本身が今まで通りおこなえるのか危惧されていました。市は保育の質を後退させることがないように、条例などに反映させることが必要です。

★大津市ファミリーサポートセンター

ファミリーサポートセンターは開設から12年。会員数も利用件数も増え続け、特にここ数年は、東部地域での利用者が大きく増えています。

活動内容は幼稚園、児童クラブなどの迎えやその後の預かりなどが大半ですが、最近は私立保育園終了後の支援や多胎児支援が増えており、子ども家庭課からの紹介で来られるなど、子育て支援の大切な役割も担っています。制度の狭間での援助をしてもらえる場所としてニーズが高まっているようです。

こうした施策の充実は歓迎するものですが、併せて身近な地域での住民間のつながりや、支え合いの関係を強めることも大切だと感じました。

（石黒かづ子）

★やまのいっしょね （比叡平幼稚園・保育園）

幼保一体化施設として2年目を迎えて、工夫・改善されている様子をおうかがいました。

参観日は、仕事を持つ保育園の保護者と、少しでも子どもの様子を見たい幼稚園の保護者の思いに配慮されるように日程・回数を選べるようにする、また幼稚園の子どもが登園し

*大津市ファミリーサポートとは

「毎日の暮らしの中でのちょっとした援助を、有料で、誰に頼んでいいかわからない人と、「お困りなら、お手伝いできますよ」と言う人を結ぶ」制度。市内在住・在勤で会員登録することで利用できる。

原発は今すぐ廃炉に！ 大津のキンカン行動1周年

関電滋賀支社前で「原発ストップ」を求めて毎週金曜におこなわれてきたキンカン（金曜・関電前）行動も2年

目を迎えました。福島第一原発では、現在も放射能汚染水が流れ出ています。原発は人類と共存できません。再稼働反対・ただちに廃炉を！ひきつづきがんばります。

写真・滋賀民報社提供



市議会「業務継続計画（BCP）」策定の取り組みはじまる

「業務継続計画」（BCP）とは、震災などの非常事態に、早期復旧とサービスの提供を維持するための計画です。

市議会政策検討会議では、議会BCP策定へ、同志社大学の新川達郎教授にも関わっていただいて協議を始めました。

災害時の救援対策や復興対策に市民の声を反映させることや、災害対策の補正予算をチェックする機能を担保することなど、今後検討がおこなわれることとなります。課題の焦点を明確にしなから、提案・議論をおこなっていきます。

大規模土砂災害を想定 大津市火災・防災訓練

7月28日、大津市消防局・消防団の火災・防災訓練がおこなわれ、党市議団も全員で参加。

中山間地域の地滑り防止区域を対象に、炊き出しや防災ヘリでの物資搬送・救助訓練など頻発する土砂災害を想定した訓練がおこなわれました。

